

「九州大学百年の宝物」余話

山根, 泰志
九州大学附属図書館資料整備室図書目録係

<https://hdl.handle.net/2324/19630>

出版情報 : 貴重文物講習会. 42, 2011-03-18. 九州大学附属図書館
バージョン :
権利関係 :

附属図書館創設前史—狩野亨吉からの図書購入

「[狩野]先生がその蔵書の一部分を東北大学へ売りましたのが六万円で、ここにありますが[売立]目録の分の入札額が二万何千円。・・・(中略)・・・それ以降は九州大学へも御自分でどんどんお売りになって、自分の名では悪いから、門の傍の菱山雄平という人の名義を用いてかなりお売りになりました」(『紙魚の昔がたり』明治大正篇)

狩野亨吉^{かのうこうきち}は、近代を代表する思想家・教育家であり、莫大な蔵書を持つことでも知られた。東北大学総長沢柳政太郎^{さわやなぎまさたろう}の「仙台に、できれば第二国立図書館を作りたい」という意気込みと、親友狩野の経済的苦境を救いたいという想いから、その蔵書の多くは東北大学に収められ、狩野文庫として全国的に知られている。その狩野亨吉から、実は九州大学も大量の図書を購入していたことは余り知られていない。

1、医学部眼科教室購入古医書類書類（現医学図書館貴重図書室所蔵）

1) 資料

- ・東京大学駒場図書館狩野文庫「九州帝国大学医学部書籍納入関係書類」
- ・九州帝国大学医学部附属医院眼科図書原簿（和書雑誌）

当初眼科教室大西克知^{よしあきら}教授が狩野に類書等の実用書を中心に図書の購入を依頼。次第に膨大な古医書を購入するに至る。関係書類によれば、狩野が所蔵していた図書を購入しただけではなく、狩野が東京の書店から見繕った図書を購入したものもあり、この九大の図書の購入についていえば狩野はブローカーとしての性格が強かった可能性がある。いずれにしても、狩野亨吉という当代随一の目利きによって選ばれた本であることは間違いない。

2) 受入概要

納入者：菱山雄平

- 1919.10.3 国書解題 1冊 17円
- 1919.12.12 国書刊行会叢書 229冊 311.28円
- 1920.5.14 汲古閣版二十一史 400冊 368.6円
- 1921.3.29 明板三才図会等 6部 627冊 623円
- 1921.8.24 医道二千年眼目編等 78部 435冊 302.3円
- 1921.10.20 医語類編等 221部 361冊 432円
- 1922.1.18 阿蘭陀伝票崎流家方集等 107部 544冊 329.1円
- 1922.5.23 医院治験録等 39部 76冊 62.85円
- 1922.6.29 医事問答等 40部 151冊 59.7円
- 1922.7.1 医家初訓等 19部 22冊 13.25円
- 1922.8.3 医経原旨等 39部 84冊 52.15円
- 1922.10.14 格致餘論疏鈔等 34部 137冊 81.05円
- 1922.11.16 動物学雑誌 30冊 207円
- 1922.12.13 伊百乙薬性論等 64部 163冊 177.55円

1922.12.23 揆穴資蒙等 63部 225冊 106.75
1923.2.23 医事集談等 12部 77冊 48.3円
1923.3.24 医事秘記等 70部 190冊 144.5円
1924.3.8 医学捷経等 52部 109冊 91.5円
1924.8.12 医学院学範等 44部 157冊 163.25円
1924.11.12 医門関等 34部 50冊 52.8円
1924.12.5 医方類聚等 29部 438冊 428.55円
1925.3.31 雑病広要等 29部 59冊 113.6円
1925.5.12 医学菅錐外集等 84部 217冊 264.15円
1925.6.15 癸未掌記等 96部 194冊 218.85円
1925.8.21 運氣論諺解等 20部 35冊 47円
1925.10.30 天中記等 10部 69冊 64円
1926.1.15 胃氣論等 18部 57冊 49円
1926.2.4 儒門医学等 10部 49冊 35円
1926.7.14 医学所分限帳等 17部 36冊 35円
1926.9.4 一貫堂脚氣方論等 7部 20冊 20円
1926.12.11 玉海等 14部 150冊 72.2円
1927.3.25 医事表等 8部 64冊 27円
1927.8.27 医道便益等 17部 62冊 30.7円

計 1285部 5518冊 5048.98円

1928年頃の眼科教室の蔵書数約 19000冊

→「日本一」(『九大風雪記』)と称せられた眼科図書室の基盤は狩野亨吉の蔵書で形成された。

なお、上記図書原簿中、古医書以外の漢籍としては下記のような書籍がみえる。

汲古閣版『二十一史』400冊、『増補文献備考』51冊、『九通』204冊、銅版『佩文韻府』100冊、明板『三才図会』80冊、『格致鏡原』32冊、『淵鑑類函』160冊、『太平御覧』100冊、『古事比』24冊、『古今事類全書』16冊、『唐類函』64冊、『古今類事』6冊、『広群芳譜』36冊、『子史精華』40冊、『天中記』30冊、『博物典彙』6冊、『玉海』122冊

計 17部 1471冊

3) 現状と課題

医学図書館の貴重図書室は、医学部諸講座提供の蔵書が基礎となっており、眼科教室の蔵書も多数含まれている。その内、古医書についてはミヒェル先生のご尽力により、その他の講座の古医書とあわせて貴重古医書コレクションとして整理され、目録も作成されているが、類書を中心とする古医書以外の漢籍については未整理のままである。

2. 工学部数学物理学教室受入数学天文書（現桑木文庫）

「私は九大在任中、大正の初に図らず長崎で本木、志筑等阿蘭陀通詞の訳稿等を見、又大分で梅園及万里の著述草稿等を見てから、日本支那の科学の古文献の蒐集を思立ち、続いて西洋の科学史文献を集め、三十年余の間に相当の量に達しました。**其中、狩野亨吉先生が日本の古暦天文書を蒐集せられたものを譲受けたものもあり**、又物理学史の著者 Edmund Hoppe 翁にゲッチンゲンで遇ひ、翁の死後、其の遺蔵の科学史文献五六百冊を買受けたものもあります。皆九大の教室所蔵で、資金は鮎川義介氏の好意に依ったものもあります」（桑木或雄『科学史考』）

1) 資料

工学部時代の図書原簿が現在所在不明なため、桑木文庫中「狩野氏圖書記」の蔵書印が捺された図書から受入日と備品番号の範囲を推定し、桑木文庫成立以前の目録と思われる『自然科学古典目録』の備品番号から狩野亨吉旧蔵書を抽出。

2) 受入概要

1923.10.27 備品番号 805773～806200 457部 1145冊

1923.11.9 備品番号 806231～806233 3部 16冊

計 460部 1161冊（桑木文庫の五分之一）

→桑木文庫の数学天文書の基盤は狩野亨吉の蔵書で形成された。

3. 法文学部受入朝鮮本・人名録・書目類（現中央図書館狩野文庫）

1) 資料

- ・九州帝国大学図書出納簿
- ・九州帝国大学法文学部図書出納簿
- ・九州帝国大学附属図書館図書原簿

2) 受入概要

1923.10.12 本部が大同洋行主石本恵吉を介して購入

1924.12.24 本部より法文学部へ保管転換 247部 726冊 2111.1円

1927.8.15 法文学部より附属図書館本館に保管転換

文庫印：総合目録カードに「狩野文庫」の印

目録：九州大学所蔵コレクション目録データベース

人名録や書目類など、図書館向きの資料が中心であり、附属図書館の基盤の一つとなった。実際 1928年3月の九州帝国大学創立記念日、法文学部開学式の展示会「図書館学参考書展覧会」（附属図書館初の展示会）でも主な展示品として多数出品されている。また、江戸時代の紳士録である武鑑類も、昭和十年度開学記念展示で展示された。

「承応二年から慶應四年に至る約二百年間の八十一部に及ぶ武鑑や元禄以前筆の『長崎より江戸迄の海路図』『大名行列絵巻』等学術上貴重な幾多の文献を陳列し観衆に東海道五十三次時代の交通状態や大名政治について生きた智識を豊富に与えてくれた」（『九州帝国大学新聞』129）

4. 関係者略伝

・狩野亨吉(1865-1942)

出羽久保田藩士狩野良知の次男。帝国大学数学科・哲学科を卒業、金沢第四中学校、第五高等学校を経て、第一高等学校校長となる。1906年、京都帝大文科大学初代学長に就任、内藤湖南、幸田露伴ら正規の学歴がない民間学者を京大に招いた。辞職後、書画や刀剣の鑑定・売買を業とした。安藤昌益、志筑忠雄らの思想家を紹介したことでも知られる。その膨大な蔵書の内、10万冊以上が東北大学附属図書館狩野文庫に収められている。

・大西克知(1865-1932)

眼科学者。伊予松山出身。東京大学予備門に学び、ドイツに留学して眼科学を専攻した。岡山の第三高等学校医学部教授を経て、上京して大西眼科医院を開設、日本眼科学会創立にも参加した。京都帝国大学福岡医科大学の初代眼科教授として招かれ、世界有数といわれる規模を誇った眼科教室の基盤を作った。

・桑木彥雄(1878-1945)

東京出身。東京帝国大学物理学科卒。同大学理科大学講師、助教授、明治専門学校教授を経て、九州帝国大学工科大学数学物理学教室教授となり、後に設立される理学部の礎を築いた。アインシュタインの相対性理論の日本への最初の紹介者として知られる。後、松本高等学校校長、日本科学史学会初代会長。

【参考文献】

『二十五年史』九州帝国大学医学部、1928

桑木彥雄『科学史考』河出書房、1944

鬼頭鎮雄『九大風雪記』西日本出版社、1948

青江舜二郎『狩野亨吉の生涯』中公文庫、1987

『紙魚の昔がたり』明治大正篇、八木書店、1994

『ものがたり東北大学の至宝』東北大学出版会、2009

『九州大学百年の宝物』関連記事

23「貴重古医書コレクション」(ミヒェル・ヴォルフガング)・46「桑木文庫」(平岡隆二)・47「類書」(大淵貴之)